

たかおか

市議会 だより

No.12 9月定例会号
平成20年(2008年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
代表質問	4P
個別質問	6P
委員会の動き	10P



開町
400年
Anniversary
The City of
Takaoka
1609-2009

編集 ■ 議会広報編集委員会
発行 ■ 富山県高岡市議会

〒933-8601
高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

いざ高岡城へ(つくりもんまつり)

写真提供：高岡市美術作家連盟 写真部



男女平等・共同参画都市宣言、

補正予算・条例・意見書など32議案を可決

代表・個別質問に19人が登壇

9月定例会は10日に開会し、25日に閉会しました。
市長から平成20年度一般会計補正予算をはじめ29議案が、議員から意見書など5議案が提出され、うち32議案を可決・同意、決算の認定2議案を継続審査としました。
今定例会では、代表質問に3会派、個別質問に16人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決した主な議案等

条例

ふるさと応援基金条例

個人住民税の寄附金控除拡充に伴い、寄附金を積み立てるため、基金を創設するもの。

教育センター条例の一部改正
正・視聴覚教育センター条例の廃止・児童文化センター条例の廃止

教育センターが児童文化センター（京町）へ移転することに伴う所要の改正と、視聴覚教育センター及び児童文化センターを廃止するもの。

ミューゼふくおかカメラ館条例の一部改正

指定管理者制度導入のため、指定管理者が行う業務等

必要な事項を定めるもの。

体育施設条例の一部改正

福岡町西明寺地内に、パークゴルフ場を設置するもの。

その他

男女平等・共同参画都市宣言

市議会、市民、事業者等と市が一体となって取り組む姿勢を市内外に発信し、男女平等・共同参画社会推進の機運の醸成を図るもの。

人事

※すべて再任

教育委員会委員

多田 慎一氏（宮田町）

公平委員会委員

高柳 卓三氏（広小路）

固定資産評価審査委員会委員

高田 博子氏（城東一丁目）
能松 正子氏（吉久三丁目）



各地から続々と（高岡城総登城まつり）

松永 彰氏（京町）
三屋 勉氏（今泉）
蓑 厚行氏（福岡町福岡）
山 孝之氏（伏木一宮二丁目）

人権擁護委員

藤田 利勝氏

（福岡町下向田）

意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書

次の事項について特段の配慮を行うよう要望する。

一 地方の財政及び道路整備状況等を踏まえ、地方税財源を拡充すること。

議決結果一覧

初日提出議案

平成20年度 補正予算

◇一般会計……………賛成多数で可決
◇国民健康保険事業会計……………全会一致で可決
◇農業集落排水事業会計……………全会一致で可決
◇介護保険事業会計……………全会一致で可決

条例

◇地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例……………全会一致で可決
◇監査委員条例の一部改正……………全会一致で可決
◇公益法人等への職員の派遣等に関する条例等の一部改正……………全会一致で可決

◇ふるさと応援基金条例……………全会一致で可決
◇教育センター条例の一部改正……………全会一致で可決
◇視聴覚教育センター条例の廃止……………全会一致で可決
◇児童文化センター条例の廃止……………全会一致で可決
◇生涯学習センター条例の一部改正……………全会一致で可決
◇ミューゼふくおかカメラ館条例の一部改正……………全会一致で可決
◇体育施設条例の一部改正……………全会一致で可決
◇消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
◇消防団員等公務災害補償条例の一部改正……………全会一致で可決

その他

◇男女平等・共同参画都市宣言の制定……………全会一致で可決
◇土地開発公社定款の変更……………全会一致で可決

認定

◇平成19年度高岡市民病院事業会計ほか3企業会計決算（平成19年4月～20年3月）……………全会一致で継続審査
◇平成19年度一般会計・国民健康保険事業会計ほか8特別会計決算（平成19年4月～20年3月）……………全会一致で継続審査

6月定例会後～9月定例会前

- 6月20日 議会広報編集委員会
23日～25日 民生病院常任委員会行政視察
25日～27日 経済消防常任委員会行政視察
7月 1日～3日 建設水道常任委員会行政視察
9日 開町四〇〇年記念事業特別委員会
10日 議会広報編集委員会
代表者会議
14日～16日 総務文教常任委員会行政視察
15日 経済消防常任委員会
18日 建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
民生病院常任委員会
28日 建設水道常任委員会現地視察
8月19日 建設水道常任委員会現地視察
25～27日 議会運営委員会行政視察
29日 代表者会議

9月定例会

- 9月 1日 建設水道常任委員会
2日 議会運営委員会
代表者会議
4日 正副常任委員長会議
8日 議会改革検討会
10日 議員協議会
本会議（提案理由説明）
議案説明会
12日 本会議（代表質問）
17日 議会運営委員会
本会議（個別質問）
18日 本会議（個別質問）
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
19日 代表者会議
民生病院常任委員会現地視察
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
22日 議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
25日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案・意見書など議決）

- 一 地方部の道路整備の需要に十分配慮すること。
一 地方道路整備臨時交付金制度の仕組みを今後も維持し、更なる拡充を図ること。
一 地方道路整備臨時貸付金を継続すること。
■農業生産資材価格高騰に関する意見書
農業者の経営安定を確保し、国産農畜産物増産・自給率向上を図るため、原油・飼料・肥料など生産資材価格の高騰対策に向けた万全な措置を講ずるよう要望する。
■社会保障費を毎年2200億円抑制する方針の撤回を求める意見書
社会保障制度に対する国民の信頼を回復し、誰もが安心

- して生活できるようにするため、社会保障費を毎年2200億円抑制する方針を撤回し、平成21年度予算が十分に確保されるよう要望する。
■原油価格高騰に対する緊急対策を求める意見書
次の事項について積極的な措置を講ずるよう要請する。
一 産業用油種の価格安定対策や資金融通措置等の充実強化
一 生活関連石油製品の安定供給の確保及び価格安定
一 地方自治体が実施する原油高騰対策への財政支援
一 社会福祉施設運営などの急激に上昇する行政コスト負担への必要な財政措置
一 生活困窮者に対する補助

■一般会計補正予算の概要

一般会計	（補正額 7億2,668万円）
《主な事業》	
除雪対策事業費	1億2,730万円
北陸新幹線対策事業費	1億 805万円
万葉線再生事業費	5,875万円
福岡中央幼児学園（仮称）施設整備費補助事業費	4,204万円
J R 駅周辺公衆トイレ整備事業費	3,530万円
通学路安全確保事業費	1,500万円
市立公民館施設耐震化事業	1,041万円

金制度の創設及び生活扶助基準への物価上昇分の上乘せ

■最終日追加提出議案

人 事

- ◇教育委員会の委員の任命……………全会一致で同意
◇公平委員会の委員の選任……………全会一致で同意
◇固定資産評価審査委員会の委員の選任（6件）……………全会一致で同意
◇人権擁護委員の推薦……………全会一致で同意

議員提出議案

- ◇市議会会議規則の一部改正……………全会一致で可決
◇道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書……………全会一致で可決
◇農業生産資材価格高騰に関する意見書……………全会一致で可決
◇社会保障費を毎年2200億円抑制する方針の撤回を求める意見書……………全会一致で可決
◇原油価格高騰に対する緊急対策を求める意見書……………全会一致で可決

請 願

- ◇燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策についての意見書提出（農民運動富山県連合会 代表者 小林定雄）……………賛成少数で不採択
◇ミニマムアクセス米の輸入停止の意見書提出（農民運動富山県連合会 代表者 小林定雄）……………賛成少数で不採択

- ◇消費税の増税に反対する請願（消費税をなくす富山県の会 代表者 水谷敏彦）……………賛成少数で不採択

陳 情

- ◇地域間格差を拡大する地方移譲に反対し、国土交通省の地方出先機関の存続を求める意見書の採択について（国土交通省全建設労働組合北陸地方本部 富山支部長 元平幸成）……………不採択

- ◇高岡市西田地内の大規模養鶏場建設反対について（太田校下連合自治会 会長 中木勝美ほか11名）……………継続審査

代表質問

今定例会では、3会派の代表が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



社民クラブ
野上 達夫

市の財政状況は

問 財政について問う。

(1)財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は、75%程度が妥当とされている。平成19年度の89%を最高に、この10年間は75%を超えているが、見解は。

(2)税収減や緊急支出等に備えた財政調整基金は、13年度では約40億円だったが、20年度予算ベースでは約3億7千万円に激減している。見解と今後の展望は。

経営企画部長

(1)19年度は、県内10市の平均を下回っており、比較的弾力性があるといえる。しかしながら、国の基準を上回っていることから、今後、経常一般財源の削減に努め、比率の抑制を図りたい。(2)持続可能な財政運営を維持するためには、基金を取り崩さずに収支の均衡を保つ必要

地域密着型サービス

問 平成18年度の介護保険制度の改正により、日常生活圏域内で介護サービスが受けられるよう、地域密着型サービスが創設された。本市の現状と課題は。

福祉保健部長 地域密着型介護事業所として、小規模多機能型居宅介護施設4カ所、認知症対応型通所施設5カ所などが整備されている。しかし、未整備の圏域があることから、サービス必要量を見込みながら、第4期介護保険事業計画に位置付け、整備促進を図っていききたい。

環境基本条例の策定

問 環境基本条例(仮称)に、CO₂削減数値、時期など具体的な施策を定めた環境推進計画を盛り込んだかどうか。また、条例策定の進捗状況は。

がある。今後、市税・交付税の確保や不要不急の経費削減等により、健全な財政運営に努めたい。

市長 環境基本条例(仮称)には、生活環境、自然環境、快適環境及び地球環境の保全に関する目標を定めた環境基本計画の策定についての規定を盛り込むこととしている。現在、条例制定に向け、公害対策審議会の専門部会で条例の内容案を検討中であり、市民からの意見募集や環境講演会を開催した後、公害対策審議会からの答申を受け、平成20年度中に策定したい。

公共交通の充実整備

問 高齢者等に対するタクシー利用への支援、万葉線・路



公共交通網の充実を

線バスの活用推進、北陸新幹線の建設に伴う並行在来線や氷見線・城端線の存続など、公共交通の充実整備についての見解は。また、万葉線の近年の経営状況と課題は。



自民高岡・
新市民クラブ
荒木 泰行

間近の開町400年

問 開町400年記念事業について問う。

(1)市民参加の一環として実施する地域事業に、連合自治会等から応募のあった内容は。また、行政側からのアドバイスが不可欠と考えるが、市としての関わり方は。

(2)平成21年度の観光入り込み客数の目標と、達成のための戦略は。また、高岡御車山祭など既存イベントとの連携についての考え方は。

市長 (1)歴史地図の作成や歴史探訪など、地域の歴史を再発見しようという事業や、長く途絶えていた伝統行事の復

る。市民の誰もが将来においても安心して暮らせるよう、公共交通網の充実を図りたい。万葉線は、平成14年に第3セクターとして運行開始以来、5年連続で輸送人員が増加していたが、19年度は若干減少した。収入減対策として、アイトラムや電停の整備など利用促進策等に取り組みたい。

活などが提案されている。主役である地域の方々を、市としても支援するため、各支所や公民館、関係課の職員などが、情報提供やアドバイスを通じて積極的に関わることができると考えている。

(2)観光入り込み客数は500万人と想定している。目標達成のため、高岡が瑞龍寺や勝興寺、高岡御車山祭など魅力的な観光資源に恵まれていることを強くアピールすることが重要と考えており、イベント実行委員会では、商工会議所等と連携を図りながら、東海地区を中心に積極的なキャンペーン活動に取り組んでいる。また、各地のふるさと高岡会などへ、この機会の帰郷を働き掛けている。今後、年賀はがきの活用など様々な機会を通して積極的なPR活動に取り組んでいきたい。

集客力アップ

問 東海北陸自動車道の全線開通により、観光客が増加している。さらなる観光客誘致の取り組みと経済効果を上げるための方策は。

市長 飛越能経済観光都市懇談会によるバスツアーの誘致や、商工会議所等との連携による出向宣伝などで、引き続き東海方面からの観光客誘致を図りたい。さらに、ドライブマップの作成や、観光ボランティアの充実など受け入れ機能の強化に努めたい。経済効果を上げる方策としては、コンベンション誘致など、交流人口の拡大を図るとともに、来訪者の滞留時間の増加につながるような観光施策の充実を図っていききたい。

復旧の状況は

問 平成20年2月に発生した



高波で陸地側へ後退した北防波堤

寄り回り波被害のその後の対応は。また、国の高波対策検討委員会で提言された中間取りまとめを本市においてどう生かすのか。

市長 伏木外港の北防波堤では、21年度の完成を目指し、約11億円で復旧事業が実施されている。万葉ふ頭緑地では、20年度中の完成を目指し、約8千万円で復旧事業が実施されている。雨晴マリナーでは、



自民クラブ

盤若 進二

総合斎場の適正管理

問 平成21年度から業務を開始する総合斎場については、細心の気配りで適正な管理運営が求められるが、どのような体制をとるのか。

生活環境部長 指定管理者制度も視野に入れ、様々な観点から検討した。その結果、火葬炉などの安定稼働を見極める必要があること、全体の正確な管理運営費の算出が難しいこと、安定運営の確保が求められることから、当面の間、直営による管理運営体制をとることとした。具体的には、

一部損壊した浮き桟橋などについて従来よりも強度を高めた復旧作業を完了している。中間取りまとめでは、今後の対策の基本的な方向として、砂浜の保全と回復、水防活動の充実などが示されている。本市では、松太枝浜で砂浜の侵食が進行しており、提言にあるような砂浜の保全対策が速やかに実施されるよう国・県に要望していききたい。



建設が進む総合斎場

受付業務等は非常勤職員対応、火葬関連業務その他施設・設備の維持管理業務は、民間等への業務委託とする考えである。また、待合室、式場等は貸館方式とし、通夜・葬儀等の運営は利用者に任せたい。

料金水準の適正化

問 平成21年度からの新たな第11期下水道事業財政計画の策定に当たり、下水道使用料の改定についてどのような認識を持っているのか。

都市整備部長 下水道施設の維持管理費は、整備進捗に伴う施設数の増加や老朽化による修繕費の出費等から、今後増加すると見込んでいる。また、過去に発行した起債の償還額も増加する。一方、収入は、使用料を15年度に改定して以来、6年間据え置いていることなどから、大きな伸びが期待できない状況にある。

現行の料金体系における収入でその費用が賄えない現状を踏まえると、公営企業としての独立採算制の原則や受益と負担の適正化等の観点から、ある程度値上げせざるを得ないものと考えている。

快適な歩行空間

問 現高岡駅に隣接する地下街は、老朽化による暗いイメージを払拭する何らかの措置が必要だが、対応策は。

都市整備部長 駅前地下街は、駅直近部の主要な商業施設であるとともに、降雪期に

対応した駅から中心市街地や観光施設へと向かう重要な通路である。来年の開町400年には多くの来訪者が見込まれることから、地下街全体で概ね60基の照明施設の増設と南北横断地下道の内装の修繕費を今定例会の補正予算に計上した。また、県道の横断地下道については、県にも協力を要請しているところであり、これらにより来訪者に快適な歩行空間を提供したい。

制度の安定的持続

問 第4期介護保険事業計画における保険料負担低減の取り組みは。

福祉保健部長 サービス受給者の増加、介護度の重度化、療養病床再編に伴う給付体系の見直し等による介護報酬の改定予定など、介護給付費の増大が見込まれる。また、給付費に対する第1号被保険者の負担割合が19%から20%になることなどから、その負担額の増大が予想される。第3期計画期間中の介護給付費準備基金の活用や適切なマネジメントの推進、サービス提供体制適正化などの取り組みの強化、介護予防事業の充実を図るなど、介護給付費、ひいては保険料の低減に努めたい。

個別質問

今定例会では、16人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



狩野 安郎
自民高岡・新市民クラブ

統廃合の検討

問 公益法人制度改革への対応について問う。

(1)各法人の取り組みや市の指導状況、社団・財団法人のあり方など、現状の基本方針は。(2)対応に当たっては、指定管理者制度の面からも検討し、類似団体、法人の合併を視野に入れては。

経営企画部長

(1)所管部局を通じて、対応に向けた諸準備の呼び掛けや県の説明会への出席要請を行っており、今後は、各法人で対応方針が定められていくものと考えている。市の出資比率が2分の1以上の法人は、公益社団(財団)法人への移行を基本としたい。(2)これまでも集中改革プランに沿って出資法人の整理を進めてきた。今後も、法人の設立目的、事業等の観点から見直しを行い、統廃合の検討を進めたい。

観光戦略

問 たかおか観光戦略ネットワークの基本的な考え方は。

市長 高岡の見どころを「磨く」「つなぐ」「売り込む」の3つの柱を基本とし事業展開しており、「行きたいまち高岡」を目指し、交流人口の拡大に努めていきたい。



金森 一郎
自民クラブ

都市間交流担当部署を

問 東海北陸自動車道の開通を機に、都市間交流の推進のため、担当窓口等の体制づく



一宮市と七夕交流

りが必要と考えるが、見解は。

市長 交流テーマに応じて関係部局が中心となりながら、総合的な調整は都市経営課が行っている。今後とも、この形で様々なテーマの都市間交流推進に取り組んでいきたい。

協働の基盤づくり

問 協働の推進について問う。

(1)協働の進め方を広く市民に伝えるため、中間支援組織等の設立を検討しては。(2)庁内における協働への取り組みの現状と今後は。

生活環境部長

(1)中間支援組織のあり方を検討し、育成していくことは、協働の基盤づくりを進めるうえで解決すべき課題である。高岡市協働のまちづくり推進委員会において機能、役割、設立運営形態等を検討していく必要がある。(2)庁内推進会議で協働事業の検証や事例研究を行っている。平成20年度は、96の協働事業を実施しているが、「市民参加と協働」を重要な観点ととらえており、今後とも、各局で積極的に取り組んでいくべきものと考えている。



杉森 利二
公明党

守山川の増水対策

問 浸水対策について問う。

(1)守山川改修工事のスケジュールは。(2)国道160号の雨水を処理する排水路の設置を国に要請すべきでは。

市長

(1)平成19年度から事業に着手し、現在、国土交通省と連携し、小矢部川への放水路の早期整備に努めている。また、上流部の応急的な浸水対策が必要との考えから、東海老坂地区の延長約240mの拡幅、西海老坂地区での嵩上げなどの河川改修工事を進めてきた。先般、二度の大雨被害もあったことから、できる限り工事の完成を急ぎたい。

建設部長

(2)守山川に少しでも負荷を与えないような排水系統の見直しなどについて、国に相談協議したい。

災害に強いまちづくり

問 市民一人ひとりへの防災に対する啓発策は。

市長 地域防災力の向上は、日頃から、住民、自治会、事業所などにおいて、総合的に

取り組んでいただくことが重要と考えている。このため、まちづくり出前講座等を開催するとともに、自主防災組織の結成促進等を図っている。



金平 直巳
日本共産党

増加する保険料

問 後期高齢者医療制度の加入者の医療費全体に占める負担割合は、現在1割だが、2年ごとの保険料の改定時には、75歳以上の人口増に連動し、増加する仕組みである。団塊世代が後期高齢者になる2025年度には、現在の倍の保険料になる見込みだが、見解は。

福祉保健部長

医療費の負担割合は、今後の医療費動向や高齢者と若年層の人口構成の変化により見直しを図ることが、法律で規定されている。制度の周知と医療費の適正化による健全運営に努めるとともに、適正な保険料水準となるよう保険者である県後期高齢者医療広域連合に対し、働き掛けていきたい。

安全な通学路を

問 通学路の安全点検調査で

発見された危険箇所の改善は、短期間で対応してほしい。改善に向けた基本方針は。

建設部長 危険箇所が把握された801カ所のうち、既存市道敷内の工夫で対応できる440カ所については、危険度・緊急度等の観点から、早急に対策が必要な箇所より整備し、今後、2～3年を目途に整備を完了したい。



青木 紘
自民クラブ

具体的な方向性は

副市長 総合グラウンド建設事業の現時点での検討状況と考える方は。

市長 現在、要望のあった3地区を中心に、用地選定作業を進めている。地元等との協議に要する期間を考慮し、平成22年を目途に用地取得を終え、合併特例債の期限の26年度までの完工を目指したい。

福岡と高岡の絆

副市長 開町400年・市民提案事業の福岡地区木舟城跡での「月見の宴」の内容は。

高岡副市長 福岡の木舟城跡に高岡木舟町の方々を迎え、郷土芸能を楽しみ、歴史のつ

ながりを学ぶとのことである。実りのある地域間交流になるよう支援していきたい。

学校適正規模・適正配置

副市長 学校の再編統合に向けた市の理念、方向付けは。

教育委員長 学校の再編統合に向け、抜本的対策を講じるため、検討委員会を設置した。何よりもより良い学習環境の創出を念頭に置き、市全体の幅広い視点に立って議論していただき、市としては、一歩ずつ着実に進めていきたい。



梅田 信一
自民高岡 新市民クラブ

障害者自立支援

副市長 市営住宅を障害者グループホームとして活用しては。

建設部長 常時入居待機者がいる状況であり、活用は大変困難である。しかしながら、現在入居停止にしている簡易平屋建て住宅に、いくつか条件を整理し、限定的に活用できないか検討したい。

人材育成基本方針の推進

副市長 人事管理における自己申告制度は現在、どのような形で機能しているのか。

市長 意欲ある人材の発掘、職員のスキルアップ、配置・異動等に有効であり、今後も制度の充実と活用方法等の検討を行い、人材育成に配慮した人事管理に努めていきたい。

市税収納率の向上を

副市長 先進自治体の事例を参考に、新たな市税収納対策を講じる必要があるのではないかと。

総務部長 平成18年度の徴収体制の見直し・強化により、3カ年で市税全体の収納率は1.6ポイント向上し、滞納繰越額は3億1千万円改善された。引き続きこれまでの収納対策を実施していきたい。また、先進事例なども研究し、今後とも実効性のある収納対策の充実・強化に努めたい。



上田 武
社民クラブ

登下校時の安全確保

副市長 通学路の安全点検調査について問う。

(1)801の危険箇所の分類と危険度、緊急度の考え方は。
(2)市で改善に取り組む440カ所以外は対応策が示されていないが、今後の方向性は。
建設部長 (1)「用水と歩道の

間に安全柵がない」が208カ所、「歩道と車道の明確な区分がない」が112カ所、「側溝に蓋がない」が106カ所などであった。学校関係者と協議したうえで、早急な対策が必要な箇所から整備したい。
(2)国道・県道敷内や標識の設置が必要な箇所があり、平成20年度内に改善策をまとめ、国や県、公安委員会に早期の対応を要望したい。その他、道路整備だけでは対応できない箇所等もあり、関係機関と協議し、対応策を検討したい。

学童保育

副市長 放課後児童クラブが抱える諸問題に対して、善処に向け一層の努力を。

市長 指導員の確保、研修等については、クラブ側へ指導、助言をしている。また、活動場所の拡張や体調不良児の休養場所の確保、設備の充実に関する要望が寄せられており、実現に向け努力したい。



高畠 義一
自民高岡 新市民クラブ

飛越能の玄関口

副市長 北陸新幹線新高岡駅（仮称）駅舎について問う。

(1)どのように富山らしさ、高岡らしさを表現するのか。
(2)建設までのスケジュールは。

市長 (1)高岡らしさを表現するため、アルミ・銅器・漆器などの地場産品を取り入れ、地域の風土と調和し、飛越能の玄関口にふさわしい駅舎として整備されるよう、鉄道・運輸機構に要望していきたい。

都市整備部長 (2)鉄道・運輸機構では、駅舎を含む設備の認可後、市が既に提出しているデザインコンセプトをもとに約1年かけて基本設計を行う。市では、同機構から示された複数の駅舎デザイン案をもとに、市民等の意見を聞き、案を絞る。その後、同機構では、1年程度かけて実施設計を行い、建設工事に着手するとされている。



高岡に向かって延びる新幹線橋りょう

選挙ポスター掲示場

問 選挙運動用ポスター掲示場の設置場所、設置数など再検討すべきと思うが、見解は。

選挙管理委員長 宅地開発による地勢の変化等もあることから、今一度、総点検し、設置場所の移転、新設・廃止を含めて検討したい。



島村 進
社民クラブ

緊急経済対策

問 原油高などに対する緊急経済対策について問う。

(1) 福祉施設や指定管理者等への影響を実態調査し、支援策を講じるべきでは。

(2) 平成19年度実施の福祉灯油券の実績は。また、引き続き事業を実施すべきでは。

奥田副市長 (1) 施設の性質により影響は異なることから、原油価格等の推移を注視したい。浴場を有する老人福祉施設等については、指定管理者等と協議し、サービスが確保できるよう対策を講じたい。

福祉保健部長 (2) 高齢者・生活保護世帯など2338世帯に7014枚の助成券を配付し、5871枚利用された。

事業は一年限りとしており、今後は価格動向を注視し、国・県等の状況を見極めたい。

少人数学級の推進を

問 本県では小学3年生を40人学級としているが、1・2年生のように35人としては。

教育長 本市の小学3年生以上の現状は、80%が35人以下学級となっている。なお、少人数指導や生活指導のための教員を配置し、きめ細やかな指導に努めている。



曾田 康司
自民クラブ

2014年対策

問 新幹線開業を見据えたまちづくりについて問う。

(1) 新幹線新駅の名称と決定までのスケジュールは。

(2) 新幹線開業後の並行在来線に新駅を設置する考えは。

都市整備部長 (1) 新駅の名称は、平成25年度頃にJR西日本が地元の意向も踏まえ決定すると聞いており、市としては、23年度末頃までに名称案を提言したい。分かりやすい名称が望ましいことから、市民をはじめ、広い地域の方々からも意見を求めたい。

(2) 富山県並行在来線対策協議会の検討の中で高岡駅と西高岡駅の間が候補となっている。市では、利便性の高い並行在来線となるよう、同協議会の調査検討結果も踏まえ、新駅の必要性を検討していきたい。

スピード感覚を

問 市民ニーズに即時・的確に対応するために、スピード感覚を持った行財政運営を推進すべきと考えるが、見解は。

市長 市が当面する課題や住民ニーズへの迅速かつ適切な対応が重要である。市民からの意見については、迅速に検討し、実現可能な施策から着実に実践するよう努めている。



樋詰 和子
公明党

地域経済を元気に

問 相談窓口の充実や中小企業診断士の活用等により、中小企業の経営支援を図つては。

産業振興部長 中小企業相談所を有する高岡商工会議所等との連携を図り、支援対策の強化に努めたい。

はしか予防接種を

問 13歳と18歳を対象に始ま

った、はしかワクチンの追加接種の受診が低迷している。流行抑制のため接種の推進を。

市長 平成20年4～6月の本市の接種率は、13歳では33%、18歳では20.7%と伸び悩んでいる。今後、未接種者に接種を勧奨する文書を配布・郵送する予定であり、接種率の向上が図られると考えている。

みんなで介護

問 介護予防サポーターを養成し、団塊世代などの活躍の場の拡大を図つては。

福祉保健部長 本市では、在宅介護支援センターで専門職種による介護予防事業を実施している。また、研修を受けた健康づくりボランティアに地域の介護予防活動に携わっていただいております、これらの事業の充実に努めたい。



高齢者と園児の交流



南部 周三
日本共産党

観光都市づくり

問 開町400年を機に、観光資源を生かした観光都市づくりへの位置付けと展望は。

市長 高岡の持つ魅力を全国に発信し、歴史・文化資産を生かした観光振興施策等の充実を図ることにより、魅力ある観光都市づくりの展望が開けると考えている。

介護保険の改善に向け

問 保険料の見直し、サービスの拡大、人材不足の解消、療養病床削減に伴う介護施設の増床等計画の進行状況は。

福祉保健部長 第4期介護保険事業計画における保険料は、第3期に積み立てた介護給付費準備基金の活用等により低減に努めたい。介護サービスは、日常生活圏域のバランスを考慮し、地域密着型サービスを充実を図りたい。介護職場における人材不足の解消は、国において、介護労働をめぐる審議が進められ、介護報酬改定に向けた議論もなされている。介護施設は、国から、介護・医療療養病床を介護療

養型老人保健施設等へ転換していく方針が示され、県が医療機関に対し行っている意向調査の結果を踏まえ、対応していきたい。



川島 国
自民高岡・新市民クラブ

新たなＩＣの設置を

問 北陸自動車道、能越自動車道ＩＣ（インターチェンジ）設置事業の進め方は。

市長 北陸自動車道のＩＣは、費用対効果を算定し、計画案を選定後、設置に向けて努力したい。能越自動車道福岡パーキングエリアの乗り入れは、調査研究を行い、関係機関と協議し設置に向け努力したい。

入城の日を記念日に

問 開町４００年記念事業について問う。

(1) 毎年、９月１３日を高岡の誕生日と位置付け、市民の日とする運動を展開しては。

(2) 里帰りを、高岡の誕生日に集中してもらえようようにキャンペーンを行っては。

経営企画部長 (1) 高岡開町の日が、一層市民に定着すると思うが、市民の日とするには、

市民のコンセンサスが何より必要である。また、この種の運動は、広範な市民の盛り上がりの中で展開されることが大切な要素と考える。

(2) 特に時期はこだわらず、各地の郷土出身者組織に開町４００年イヤーに里帰りを働き掛けており、機会をとらえ広報に努めたい。



尾崎 恵子
自民高岡・新市民クラブ

DV被害者対策

問 現在、市民団体においてDV被害者の当面の生活資金支援を行おうという動きがあり期待している。市の見解は。

経営企画部長 男女平等推進センター登録活動団体のグループが先進地の団体を調査、研究していると聞いている。今後、要請があれば、市としてのアドバイスや可能な協力等についても検討したい。

サービスの普及を

問 富山型デイサービスについて問う。

(1) 本市では施設数が増えていないが、取り組みの状況は。

(2) 補助金による支援は、現場のニーズを把握した支援とす

べきでは。

市長 (1) 現在、市内７事業所でサービスを実施しているが、障害者等の介護サービスの報酬が低額なことなどにより、取り組みが進んでいない。今後、小規模多機能型居宅介護事業所等と同サービスを紹介するなどし、普及を図りたい。

(2) 本市では、富山型デイサービスに取り組み事業所に対し、施設の機能向上等の整備に係る経費を助成している。今後とも、事業者の実情も踏まえながら、支援に努めたい。



石須 大雄
社民クラブ

撤退後の対応策

問 日本製紙伏木工場の撤退に関する対応について問う。

(1) 退職者に対する再雇用の支援策は。

(2) 工場跡地や宅跡地はどうなるのか。

(3) 本市の発展に寄与してきたこの工場の名を、なんらかの形で残してほしいという住民の声があるが、見解は。

産業振興部長 (1) 高岡公共職業安定所等の関係機関と連携を図り、日本製紙(株)の再就職援助計画への支援や、離職者

への情報提供、高岡地域雇用対策推進会議で決められた雇用支援策に取り組み、円滑な再就職がなされるよう努めたい。

(2) 工場跡地については、本社において、関心を示している企業と交渉中とのことである。また、市でも県と共に企業誘致に努めている。宅跡地については、定住人口拡大に向け、有効活用を検討したい。

市長 (3) 日本製紙(株)では、約２年間、残務等の整理に当たるとのことである。この期間が新たなものづくり企業の立地につながり、灯がともり続けることを期待する。



向 栄一郎
自民高岡・新市民クラブ

みなと振興計画

問 伏木港の内港地区や外港緑地の整備について課題を整理し、みなと振興計画を作るべきと考えるが、検討状況は。

市長 みなと振興計画の策定は、県事業の伏木外港Ｃ工区造成や臨港道路の整備等の状況を見ながら取り組む必要があるため、時間を要すると考える。しかし、国・県と協議してきた、みなとまち文化館

(仮称)の外港緑地内立地は、このほど基本的方針の合意を得、今後、具体的な条件等について協議を進めていく。また、臨港道路や外港緑地の整備の進捗等を念頭に、伏木地区の道路ネットワークのあり方についても調査・検討を進めている。

局地的な集中豪雨に備えて

問 市が発行許可した住宅団地の排水路や道路側溝の維持管理のルールづくりを。

市長 施設管理者には定期的なパトロールを、また、地域の方々には側溝の清掃等の活動等に協力いただいている。このことが集中豪雨時に有効であることから、今後も自主防災組織や自治会に対し、排水路、側溝の維持管理の協力を改めてお願いしたい。



集中豪雨による土砂崩れ（伏木矢田）

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆ミューゼふくおかカメラ館の指定管理者制度導入に当たっては、専門性が要求されるが、その運営管理の方向性は。

◆新設される西明寺パークゴルフ場が18ホールとなった経緯とホール増設の可能性は。また、使用期間・使用時間を、弾力的に運用しては。

◆男女平等・共同参画都市宣言を機に、11月1日に開催される記念行事の内容は。また、今後、この日を記念日とし、広くアピールしては。



瑞龍寺 夏のライトアップ

◆この都市宣言を周知するため、出前講座の活用など、積極的に市民にPRしてほしい。

○民生病院常任委員会

◆万葉線に、アイトラムが前倒しで導入されるが、旧型車両はどれだけ残るのか。

◆JR越中中川駅と戸出駅に設置する公衆トイレについて、

JRに負担を求める考えは。
◆JR伏木駅や越中国分駅のように高校生等の利用者が大変多い駅に、トイレを整備する必要があると思うが、駅の利用状況を把握しているのか。

◆県事業の「とやまっ子子育て支援サービス普及事業」について、不平等感解消のため、対象児とまらない者に、市が独自に補助する考えは。

○経済消防常任委員会

◆老朽ため池の安全確保のための補正予算が計上されているが、ため池で事故があった場合、誰が責任を負うのか。

◆中心市街地の活性化は、総合的な計画に基づいて取り組むべきだ。既存施設や観光地を活用し、人が集まる仕掛けをつくることが重要では。

◆高岡発クラフト発信事業は、

なぜ地場産業センターで運営をするのか。まちなかの事業は、高岡町衆サロンが運営すべきでは。

○建設水道常任委員会

◆高岡駅地下通路の耐震診断は行われているのか。

◆市場橋の架け替え工事は、なぜ計画どおりに進んでいないのか。

◆通学路の安全点検調査結果の「その他」の内容は。また、その中に、すぐ改善できるものはないのか。

◆矢田南台第1公園横の法面の土砂崩れは、法面上部の側溝が詰まったことも原因の一つではないか。市内の類似箇所の管理について、明確なルールづくりを。

◆小矢部市地内では、北陸新幹線のルートが活断層上を走

り、その活断層と並行して小矢部川が流れている。地震発生時の危険性についての鉄道・運輸機構の見解は。

編集後記

ゲリラ豪雨による災害のニュースが、連日慌ただしく報道された夏でした。被災された皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。

9月定例会は、収穫期を迎えた秋風の爽やかな中、開会しました。会期中には、北京オリンピックに続いて開催されたパラリンピックで、障害を克服したアスリート達の活躍が見られました。本市では、9月13日に高岡城総登城まつりが開催され、開町400年を一年前にして、市民参加の盛り上がり気運が、いよいよ感じられるようになったことが特筆されます。

100年に一度の記念事業が、市内外の方々に感動を与え、思い出深いものとなるよう、議会としても共に取り組んでまいります。(二上 記)

★編集委員

◎高島、○尾崎、酒井、島村、南部、樋詰、盤若、二上、水口、館

(◎委員長 ○副委員長)

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月27日(木)開催予定の議会運営委員会決定されます。

- 1日(月) 10時 正副常任委員長会議
- 5日(金) 11時 議員協議会
- 13時 本会議 (認定議案議決・市長の提案理由説明)
- 9日(火) 9時 議会運営委員会
- 10時 本会議 (個別質問)
- 10日(水) 10時 本会議 (個別質問)
- 12日(金) 10時 総括質問
- 15日(月) 13時 民生病院常任委員会
- 13時 経済消防常任委員会
- 16日(火) 10時 議会運営委員会
- 13時 建設水道常任委員会
- 13時 総務文教常任委員会
- 18日(木) 9時30分 委員長会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議 (議案・意見書など議決)

♣ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

議会に来てみませんか 市議会の傍聴

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
19年12月	38人	0人
20年 3月	172人	5人
20年 6月	31人	0人
20年 9月	81人	2人